



寒河江市社会福祉協議会だより

# 愛さぽと

第100号

平成29年2月20日

編集発行：  
社会福祉法人  
寒河江市社会福祉協議会  
寒河江市中央二丁目2番1号

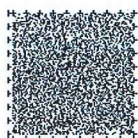
## ふれあい給食に まごころ添えて



### もくじ

- 事業紹介…………… 2, 3, 4, 5, 6
- 社協じょうほう…………… 7
- 会費、共同募金の報告…………… 8
- 受託施設からのお知らせ…………… 9
- ボランティア情報…………… 10

これは視覚障がい者のための音に変わる、音声コードです。



本会では、ひとり暮らし高齢者等で食事の支度が困難な方に、毎週月・水・金曜日のお昼に“ふれあい給食”をお届けしています。

そのお弁当に、折り紙ボランティア「さくらの会」が四季折々の折紙を添えてくれます。心のこもった折紙、いつもありがとうございます。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

# 寒河江市福祉と健康のまち大会

日常的な健康づくりへの支えよう地域社会づくりを市民みんなでき生涯を通して健康で明るい生活を実現していくために、8月28日、ハートフルセンターを会場に「平成28年度寒河江市福祉と健康のまち大会」を開催しました。

式典では、民生児童委員活動、町会長活動、ボランティア活動に功勞のあった方々に本町会長表彰を贈呈しました。式典後、樹之タハルス



リンク管理栄養士の堀田幸代氏より、「タニタ食堂」に学ぶ500キロカロリー、まんぷく定食のコツ」と題した講演をいただきました。

ロビーには、保健師の健康チェック、スカット体操体験、健康クイズラリー、500キロカロリー×ニュー展示、社会福祉協議会紹介などのコーナーを設け、また、正面玄関前では、日本テレビ24時間テレビの愛は地球を救うチャリティ募金活動とボランティアバルーン団がバルーンアートのプレゼントを行い、多くの市民の方々が健康と福祉への理解を深める場となりました。



## 寒河江市社会福祉協議会 会長表彰（敬称略）

### 民生児童委員活動の功勞

- ◆寒河江地区
  - ・木村たき子
  - ・山田 昭
  - ・山田みさこ
- ◆南部地区
  - ・宇井 裕子
- ◆西根地区
  - ・伊藤 富子
  - ・庄司ひでみ
- ◆柴橋地区
  - ・井上 康
  - ・大熊 幸夫
- ◆高松地区
  - ・齋藤 明子
  - ・森谷 君雄
- ◆醍醐地区
  - ・渡辺 博雄
- ◆沖田美代子
- ◆白岩地区
  - ・庄司 寛
- ◆高松地区
  - ・佐藤 勇
  - ・木村千恵子
- ◆三泉地区
  - ・高橋 豊子
  - ・鈴木 文夫
- ◆秋場 義昭
- ◆安達 稔子

### 町会長活動の功勞

- ◆寒河江地区
  - ・大沼 吉徳
  - ・公平 實
  - ・坂野 修悦
  - ・高橋 巨
  - ・土田 幸太
  - ・眞木 恒雄
- ◆柴橋地区
  - ・渡辺 義弘
  - ・恒木 恒雄
- ◆高松地区
  - ・今野 勉
  - ・伊藤 勉
- ◆三泉地区
  - ・伊藤 勉
  - ・土田 和廣

## 寒河江市社会福祉協議会 会長感謝状（敬称略）

### 配食ボランティア活動の功勞

- ◆高松地区
  - ・武田 節子

## 山形県 県民福祉大会

11月7日、長井市民文化会館に於いて県民福祉大会が開催され、寒河江市から次の方々が社会福祉功勞表彰を受賞されました。

誠にありがとうございます。

### 大会会長表彰（敬称略）

#### 民生委員・児童委員功勞者

- ◆寒河江地区
  - ・片桐 淑子

#### 一般社会福祉事業関係功勞者

- ◆寒河江地区
  - ・外塚 稔子

#### 社会福祉事業協働奉仕者団体

- ◆ボランティア活動功勞者
  - ・寒河江昔語り会の会
  - ・介助サポート笑顔会



# 寒河江市地域見守りネットワーク事業

本市地域見守りネットワーク事業は、ひとり暮らしの高齢者について見守り活動を行うための地域での孤立化を防ぎ、緊急事態の早期の発見を図るものです。

各町会で見守り活動がなされている地域福祉推進員、町会長と民生児童委員の連携のもとに、対象者の選定や見守りの方法などについて話し合い（三者懇談会）をしたうえで、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問活動を行っています。

12月2日、市文化センター・公共ホールを会場に、地域福祉推進員総数300名を対象に研修会を開催しました。

研修の内容は、「導き続けることのできる地域社会の実現を目指して」と題して、NPO法人全国「ミニミニボランティアセンター」理事 小野寺知子氏からの講演をいただきました。各地域で展開されている地域支え合い活動の事例を紹介して頂きながら、「自分ごと」として捉え、無理なく「さあ、地域を」の社会を築いていくための活動の推進を

源は開発者の発見。自分の地域の至物（支え合いの至り）を大切にしていくこと、地域見守りネットワーク事業を担っている推進員にとって、今後の活動に生かせる様々なヒントになる講演でありました。



次に、社協担当職員から、地域福祉推進員の活動状況と今後の具体的な展開等について説明があり、本事業の充実を図り、地域の福祉活動を推進するために、推進員の活動が

重要であることを研修しました。また、次の事例を紹介しました。

## 米沢町会の見守り活動

高松地区米沢町会は世帯数約9戸余で、地域福祉推進員は木村洋子さん・高橋けい子さんの2名にのみ、各々2名の方を担当し、現在4名の対象者を見守っています。

10月16日、これから寒くなる季節の変わり目で体調を悪くする方もいることが、今更に一緒に訪問活動をするようになりました。この日は天候も良く、皆さんお元気の様子に笑顔で迎えてくれました。とくに女性同士であり、お茶飲みに集まることとあるとのこと。お互い様の気持ちで伝わる活動でした。



## 柴橋地区社協の三者懇談会

9月29日、柴橋地区公民館において、地域福祉推進員と民生児童委員、町会長、今回町会長の加わり、地区全体の三者懇談会が開催されました。市社協及び特養厚生園の各職員からの研修後、各区分に分かれ、情報を交換し、詳細にわたって話し合いが行われました。更に町会長の三者懇談会を随時持つよう確認されました。

地区社協が主体的に関わり、各町会共有で情報を共有しながら、地域福祉の課題に取り組んでいきます。

これから、住みやすい安心・安全な地域社会を形成するため、皆さまのご協力をお願いいたします。



# ひとり暮らし高齢者 ふれあいの集い

ひとりで暮らす高齢者の方々に楽しく仲間づくりの交流をしていただくために、毎年、春と秋の2回「ふれあいの集い」を開催しています。春は温泉地への「小旅行」、秋は山形の風物詩の「いも煮会」を行っています。

## 秋のいも煮会

10月16日、ホテルサンチェリーでいも煮会を行いました。143名の参加者が山形の秋の味覚、おいしいいも煮汁を味わい交流しました。ステージでは、「山辺ハモニカンサンブル」の11名の皆様が美しい演奏を披露してください、参加者は演奏に合わせて歌を口ずさんだりしながら和やかなひとときを過ごしました。

深まのゆめ秋...いも汁と癒しのハーモニと温泉を味わってください。1日となりました。



## 春の小旅行

7月16日、前日からの雨で止まり、121名の参加者でボランティア、スタッフ総勢144名がマイクバス6台に分乗して、鳴子温泉郷中山平温泉「仙庄館」を目指し元気に出発。途中、最上町のヤナ茶屋もがみ、立ち寄りバス毎記念撮影、その後、水が日本海と太平洋に分かれる様が見られる境田分水嶺公園を見学しました。仙庄館の交流では、おいしい料理と歌謡一座の歌と踊り、そして、温泉、カラオケ大会などで楽しみました。



## シニアパソコン教室

65歳以上の方を対象に、パソコンの技術の習得と生きがいづくりや仲間づくりの交流を目的に、初心者向けの「シニアパソコン教室」を昨年度に引き続き開催しました。月曜日コース(8/22~11/7)、木曜日コース(8/25~11/10)、金曜日コース(8/26~10/28)、それぞれ10回の講座、定員20名で実施しました。教室は、安孫子慎一郎先生、渋谷文昭先生の丁寧なわかりやすい指導のもと、ワード、エクセル、インターネットの利用の仕方まで習得することができました。参加者からは大変勉強になった。「楽しかった。家でも継続してやってみよう」となご感想をいただきました。



昨年度の教室修了後に、2回目の「パソコン」を開設しており、今年度の修了者も参加し、パソコンを教え合ったりお茶を飲みながらおしゃべりしたり楽しんでいました。

## 身体障がい者の初心者パソコン教室

「身体障がい者の初心者パソコン教室」を、9月12日、13日の2日間開催しました。身体障がい者手帳をお持ちの方を対象に、パソコンの基礎知識を学ぶとともに相互の交流や仲間づくりを推進することを目的に今年度初めて実施しました。

教室では、7名の参加者が、NPO法人あいむネット(山形市)の2名の講師より、電源の入れ方から文章作成までひとつひとつ丁寧に教えてもらいながら楽しく交流しました。

参加者から再度開催の要望があり、今年度第2回目を開催する予定です。



## 寒河江市災害ボランティアセンター設置訓練

10月20日の寒河江市防災訓練に合わせ、J.A.C.がえ白石支所にて災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。

訓練では、寒河江青年会議所や自主防災組織の方々のほか、今回は近隣市町村連携事業として朝日町社会福祉協議会に登録されている方からも参加していただきました。災害ボランティアセンターのレイアウトやセンター内の業務の流れを確認し、災害ボランティアセンター運営のイメージを参加者全員が共有しました。今年度も養成講座を開催し、協力者を養成していきます。



## 「寒河江市ボランティアフェスティバル2016」を開催

11月13日ハートフルセンターを会場に「ボランティアフェスティバル2016」を開催しました。寒河江高校吹奏楽部の演奏が始まり、各フロアには点字、領職、要約筆記、お話し会、絵手紙、折り紙、ギター演奏、バルーンアート、ボイスカウト、ガールスカウトのクラフト体験などのブースや、ボランティア赤帽志願者上映記念の懐かしの映画上映会も多くの参加者が楽しみました。

また、ボランティアやチャリティパーサーなど子どもから大人まで多くの市民の方で賑わった様々なボランティア活動に触れ交流しました。



## 避難者支援事業「銀山温泉への旅」

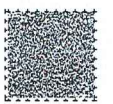
東日本大震災で福島県と宮城県から寒河江市に避難している方が1月末現在で102名いらっしゃいます。

本会では相談員を配置して、日常生活の相談や様々な情報提供、交流の場づくりなどの支援を行っています。

交流事業のひとつとして山形を知る旅を毎年実施していますが、今年9月7日に、要望の多かった銀山温泉に行きました。途中、大石田町の温泉像を見学して、千本だんごでちゅっと休憩。銀山温泉に到着すると、大正浪漫あふれる光景に皆さんうっとり見ていました。思い思いに温泉街を散策し、お気に入りの土産もたくさん買いもめました。お風呂には、温泉街の蕎麦屋さんで、地ものたつぷり入った蕎麦御膳をお腹いっぱいいただきました。また、バスの中では村山地方の方言クイズを楽



しました。「むかまり」など聞きなれない方言もあったなか、全問正解の方が二人もいらっしゃいました。文章になると少し難しかったようですが、皆さんなかなかどうして！すっかり寒河江での生活に慣れ親しんでいるようです。「今度は家族で来てみたいですね。」そんな声も聞かれた楽しい旅となりました。



福祉だより「愛さぽーと」は昭和55年3月に第1号を発行してから、この度、第100号を迎えました。今後も地域での福祉活動や社協の活動に関する情報を発信してまいります。



一山を越えて  
寒河江市民生児童委員協議会  
会長 伊藤 秀一

「愛さぽーと」100号発行おめでとうございます。近年急速に進化する高齢化社会のなか、特にひびく響く高齢者や高齢者夫婦世帯が増え地域でのきめ細かな見守り活動が不可欠であります。寒河江市では、社会福祉協議会と共に、町会長、民生児童委員、そして地域福祉推進員が連携をとりながら見守りネットワーク活動の充実を図っている所です。これから様々な福祉の情報を「愛さぽーと」を通じて市民の皆さまに発信していきます。

私達民生児童委員はそれぞれの担当区域のなかで、常に住民の方々の相談に応じ頼りれる活動をめざし日々地域福祉活動の増進に努めています。今年28年度、民生児童委員制度創設100周年を迎え、先輩方は刻苦勉勵の歴史をたどりました。今後も地域福祉向上のために邁進していきます。



社会福祉協議会は  
身近な存在  
ポロンティア音和の会  
会長 阿部 和歌子

「愛さぽーと」100号発行おめでとうございます。この広報誌を拝見して感心しております。視覚障がいの方々のために音声記事があり、障がい者にもやさしい広報誌となっております。他の広報誌では見たことがないので、さすが社会福祉協議会だと思っております。私達音和の会は、市報の朗読をテープに録音し、視覚に障がいがある方へ、声のおたよりをお届けするポロンティア活動を行っています。活動のたびに時々社会福祉協議会へお邪魔しますが、職員の方々に会うのがとても楽しみです。いろいろなお話をする中でポロンティア活動に役立つ情報なども教えてもらっています。市内にはポロンティア活動を行っている個人や団体が50ほどありますが、社会福祉協議会はポロンティア活動の拠点となっています。

また、私は民生児童委員も務めていたのですが、その時は、ひびく響く高齢者を対象に「ふれあいサロン」を立ち上げ、交付金をいただきながら運営のアドバイスをもつて大変お世話になりました。社会福祉協議会は、何か困ったことがあった時に気軽に相談にのってくれる福祉支援の拠り所です。



## ふれあいサロン

ふれあいサロンとは、歩いて行ける地域の公民館などに定期的に集い、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、趣味活動をしたり、時にはお出かけしたり、楽しみながら「交流」による仲間づくり・生きがいづくりの活動です。今年度新たに9つのサロンが発足し、民生児童委員や町会長の役員の方が担い手となり、現在、市内7ヶ所に、憩いの居場所を開通しています。

## ふれあいサロン柴橋 発会に寄せて

柴橋地区民生児童委員 渡邊 律子  
人間は社会性を持つ生き物です。生まれながらにして、他者と関わり社会的に生きる能力を持つことが出来ていますが、その能力が高齢になるにつれて使われない傾向にあるのは、いかに残念です。柴橋の場合もサロン発会の動機は、この社会性をフルに活用して高齢者の方々に元気で過ごせる高齢者の方々にありたいです。それにより、それは自分達も近い将来高齢者世代の真ん中にいる者で、自身の問題でも今より多くの方々と出会う機会を失わずに社会性を鍛える必要が感じられると感じました。

ここで、まさに「情けは人の為ならず」サロンも人の為ならずです。もう一人の区民生委員の深川光子さんもサロンの必要性を以前から強く感じておられたので、そこからサロン開設の準備がスタートしました。社会福祉協議会の方に準備のノウハウを教わり、区の協力をお願いしました。サロン開設・利用者募集のお知らせは回覧板で回覧。利用者の取りまとめも町会毎とし、これらは町会長の方々に協力頂きました。その後、毎月5日の回覧板には、サロンへの案内を載せて頂いています。また、サロンの看板を区で作って頂いたのも大変ありがたかったです。

こうして昨年11月から月一回、3木曜日10時～11時半まで研修センターでのサロン活動が開始。内容は①はじめの挨拶、そ



の月に生まれた方) ②「360歩のマーチ」を歌う ③健康体操(講師は利用者の方) ④月々の計画にのり活動(お茶飲み会) ⑤終りの挨拶(同はじめの挨拶)としています。区のポロンティア団体「チーム柴橋」からも、毎回2名のお手伝いを頂きおかげ様で活動がスムーズに進み大助かりです。各回利用者は25人前後です。まだ始まったばかりで、この先利用者のみなさんと共にいろんなサロンをつくり上げていけるのかワクワクしています。

## 社協 じょうほう

### 3/1～ 予約受付 福祉バス利用の 29年度予約受付開始

社会福祉関係機関及び福祉団体が実施する事業や研修会などに利用する福祉バス(中型26人乗り)を運行します。

- ・利用料は無料
- ・有料道路通行料や駐車場代は利用者負担
- ・一日の走行距離はおおむね200kmまで

### 教育支援資金貸付制度のご案内

(日本学生支援機構、母子父子寡婦福祉資金の奨学金等の他の貸付制度が優先です) 高校、大学、専門学校等の入学や修学に必要な経費の貸付。(学生本人が借受人、親権者が連帯借受人となります。)

- | 《貸付にあたって》  | 《貸付までの流れ》   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として連帯保証人(県内に在住の65歳未満の方)が必要です。</li> <li>・世帯への貸付ですので、世帯の所得や経費を証明する書類が必要です。</li> <li>・申請受付から償還完了まで、民生委員と社会福祉協議会が相談支援を行います。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒河江市社会福祉協議会で相談を受け付け、必要書類を提出いただいた後、山形県社会福祉協議会で審査を行います。申込みから資金交付まで、3週間～1ヶ月程度かかります。</li> </ul> |

### 3/1～ 予約受付 車いす・機材等貸出の 29年度予約受付開始

車いすを必要とする方に一時的に貸し出しをしています。また、子ども会行事や町内会行事等の地域活動に各種機材を無料で貸しています。

- ★車いす(自走式・介助式)
- ★パーペキュー用鉄板セット
- ★ポップコーン機
- ★綿菓子機
- ★かき氷機
- ★発電機
- ★餅つき用臼・杵(大人用・子供用)
- ★ワナゲ台一式

### 福祉出前講座のご案内

市社協では、市民の皆さまのご要望に応じ、職員を講師として派遣いたします。地域の会合やふれあいサロン等へ出向いて、社会福祉協議会の仕事や地域福祉等についてお話しさせていただきます。お気軽にご活用ください。講師料は無料です。

- 開催の日時と場所  
平日の10時から17時までの間、1回あたり2時間以内です。会場は市内にご用意いたします。
- 申込方法  
開催希望日の概ね1か月前までに、所定の申込書に必要事項を記入し、社会福祉協議会へ提出ください。
- 利用できる方  
寒河江市に在住、または通学・通学されている概ね10名以上のグループや団体です。(ただし、営利を目的とした催しなどの場合は除きます。)

※申込用紙及び講座メニュー等、詳しくは、ホームページをご覧ください。たくさん、直接お問合せ下さい。

# 指定管理者受託施設からのお知らせ

## 総合子どもセンター（ゆめはーと寒河江）

開館時間：平日 午前9時～午後6時 休館日：毎月第3日曜日及び  
土日祝日 午前9時～午後5時 12/29～1/3

こんな事業をしています  
遊びに来てください！



◆毎月第3水曜日  
みんなでお祝いします。



◆託児ありで、ゆっくりクラフト  
作りが出来ます。



◆赤ちゃんマッサージなどを行い、  
健康増進を図ります。



◆気持ちよく体を動かし、交流を  
深めます。



◆毎月1回  
紙芝居や手遊びで楽しめます。



◆月2回、主に木曜日の午後  
造形活動をしします。



◆門松作りなどで、高齢者との  
交流を図ります。



◆手芸や料理等で交流を図ります。  
会員外の方もどうぞ。

夏は水遊びや子ども夏まつり。  
秋には、ハロウィンパーティ。冬  
には、クリスマス会にコンサート、  
リース作り。その他にも、人形  
劇・ヨガ・父親向けの交流会等  
たくさんの事業を展開していま  
す。でまえ子育てサロン「エン  
ジェル」へも、どうぞ！

## 老人福祉センター

老人福祉センターは入浴できる憩いの場として  
気軽に参加できる催しを様々な企画しています。1  
月から毎週水曜日に地域ごとに送迎を行い、各種  
折り紙、手足を動かす健康体操、PPテープ手芸、  
懐かしい唄を歌う催しを行っています。お問合せの  
うへ、ご参加ください。

また、60歳未満の方からもご利用いただきながら  
利用状況を調査中です。親子（15歳未満は3月末ま  
で無料）で、三世代お風呂でのふれあい。ぜひお越  
しください。



- 開館時間 午前10時から午後4時
- 使用料 1日300円、半日150円  
(入浴料、休憩室含む)
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）  
及び第3日曜日
- 問い合わせ 市老人福祉センター ☎87-1328

平成29年度 老人福祉センター 上半期事業予定

期日	名称
4月25日	桜回廊巡り
5月13日	春の映画鑑賞会
5月25日	野草園観察会
7月20日	落語と腹話術を楽しむ会
7月29日	寒河江ダム見学会

※開催日時等は、都合により変更される場合があります。  
※下半期事業は7/20号でお知らせします。

# 平成28年度 社協会費・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました



社協会費（7月）、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金（10月）  
には町会長、民生児童委員各位のご協力のもと、市民の皆さまをはじめ、  
事業所、団体、学校など、多くの方々よりご協力いただきました。  
心より厚くお礼申しあげます。皆さまからの善意は、地域の社会福祉  
向上のために役立たせていただきます。



### 社会福祉協議会費

合計 13,890,000円

- 一般会費 11,033件 13,239,600円
- 賛助会費 207件 425,400円
- 企業賛助会費 40社 225,000円

【用途】社会福祉協議会の諸事業に充当しております。

### 赤い羽根共同募金

合計 4,979,865円

【用途】県共同募金会に集約され、翌年度の配分として、  
県内の福祉団体活動や福祉施設の整備、地域福祉  
事業などへ配分されます。

### 歳末たすけあい募金

合計 2,718,494円

【用途】民生委員の調査（要支援世帯）のもとに、各地区  
の配分委員会を経て、市内の支援を必要とする人  
にお届けしました。

- 要支援世帯へ ..... 243,000円
- 高齢者夫婦世帯へ ..... 100,000円
- ひとり暮らし高齢者へ ..... 600,000円
- 心身障がい児・者へ ..... 177,000円
- 寝たきり高齢者へ ..... 270,000円
- 認知症患者へ ..... 123,000円
- 長期療養者へ ..... 57,000円
- 準要保護児童へ ..... 500,000円
- 市心身障がい児・者協会へ ..... 20,000円
- 福祉施設へ ..... 30,000円
- 配分事務費 ..... 94,000円
- 地域活動配分金 ..... 504,494円

## まちなかサロン 開設のお知らせ

3月2日  
オープン!

## 『ふれあいカフェ まちかど』

高齢者・子育て世代・若者等、誰でもお茶を  
飲みながら気軽に交流できる場所“まちなかサ  
ロン”をオープンします。運営スタッフがおい  
しいコーヒー・お茶を準備してお待ちしてあり  
ますので、是非お立ち寄りください。

【開催日時】 毎週木曜日（祝祭日、お盆、年末年始期間を除く）  
午前11時から午後3時まで

【場所】 フローラSAGAエ 4階ロビー

【申込】 不要

※ご利用者には、100円の運営協力金をお願いします。  
※詳しくは、社会福祉協議会にお問い合わせください。



## ご寄付ありがとうございました ＝皆様のご厚情に心よりお礼申し上げます＝

（平成28年7月1日～平成29年1月31日 までのご寄付を掲載しています。）

### 福祉のまちづくりのために

- ・伊藤ちよへ 様
- ・玉虫エコクラブ 代表 高橋 正吾 様 (8/3,9/28)
- ・ひがし公民館女性部  
代表 荒木 洋子 様
- ・秀菁会 様
- ・錦菁会 様
- ・鈴木 公章 様
- ・西根南部公民館  
館長 小野 哲雄 様



### ふれあい給食利用者の皆様に

- ・寒河江市シルバー人材センター女性会員 様  
手編みの花瓶置き 100枚

# は〜とふる ボランティア情報

**参加者募集**

## 平成28年度 ボランティア交流会

寒河江市内で活躍しているボランティア同士、日頃の困りごとや情報交換を行い、今後の活動がさらに充実したものになるようボランティア交流会を行います。

ボランティア活動に興味がある方、話を聞きたいという方のご参加も大丈夫です。ご参加お待ちしております。

**日時** 3月4日(出) 午前9時30分～午前11時30分

**場所** ハートフルセンター 2階 視聴覚室

**対象** 日頃ボランティア活動をしている方  
ボランティアに関心のある方

**参加費** 無料

**申込** 2/28まで社会福祉協議会へ

**参加者募集**

## 絵手紙ボランティア養成講座

季節の花や野菜、風景等自分の感じたことを描いてみませんか。あなたの思いがいつまでも絵手紙を誰かに送ってみましょう。

**日時** 3月7・9・14・16日  
午前9時30分～午前11時30分

**場所** ハートフルセンター

**講師** 後藤 昭一郎 氏

**対象** 絵手紙ボランティアに関心のある方

**材料費** 500円

**申込** 3/3まで社会福祉協議会へ



## さがえっこ

## ボランティアチャレンジ

10ポイント達成  
おめでとう!!

第1号



本会では、小学生を対象にボランティア活動に応じてポイントを貯める“さがえっこボランティアチャレンジ”を実施しています。10ポイントで達成証が交付されます。第1号に白岩小学校4年生の鈴木ななさんが達成しました。おめでとうございます。

鈴木さんは、夏休みボランティア体験での点字や折り紙ボランティア、地域での除草作業、子ども会での資源回収、かもしかクラブでの手伝いなど、ボランティア活動に積極的に取り組み10ポイント達成しました。

10ポイント目指してボランティアチャレンジしましょう!

## 平成29年度

## ボランティア保険受付のお知らせ

3/1～  
受付

ボランティア保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。安心してボランティア活動に取り組んでいただくために加入をお勧めします。(寒河江市在住の方は175円の助成があります。)

●保険料 Aプラン▶ 350円(天災500円)  
Bプラン▶ 510円(天災710円)

## 在宅介護をお手伝いします

住み慣れた地域、家庭での安心した生活を支援します。42名の職員が日頃から介護技術等の向上のために研修を積み重ねています。安心して任せられる寒河江市社会福祉協議会の介護サービスをご利用ください。

- 指定居宅介護支援事業所  
要支援、要介護と認定されたご本人(ご家族)の意向をうかがいケアプランを作成します。
- 指定訪問入浴事業所  
ご自宅の入浴が困難な方に、安全で快適な入浴を提供します。
- 指定訪問介護事業所  
ホームヘルパーが自宅に訪問し身体介護や生活援助の日常生活のお手伝いをします。



お申込・お問い合わせは

寒河江市社会福祉協議会 | ☎ 83-3220・FAX 83-3221

〒991-0021 寒河江市中央二丁目2番1号

訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所  
居宅介護支援事業所・居宅介護事業所

☎ 83-3207 FAX 83-3221

ボランティアセンター  
☎ 83-3220 FAX 83-3221

老人福祉センター  
☎ 87-1328 FAX 87-1330

総合子どもセンター  
☎ 83-3225 FAX 85-0915

〈ホームページもご覧ください

寒河江市社協

検索 クリック

